



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2002年12月1日発行

創刊

たんけん通信 第2号

見本

## ◇ 勉強、何のため？ ◇

## 子どもたちの学ぶ意欲の減退が心配

2002年10月下旬から11月初旬にかけて行われた朝日新聞社とくもんこども研究所（大阪市）の共同調査の結果が発表された。その結果と、同研究所の過去のデータを重ねると、学びに背を向ける子どもの姿が浮かんでくる。として11月24日付けの朝日新聞が特集記事を組んでいます。

昨年発表された、OECD（経済協力開発機構）の調査で、日本の15歳の子どもの、国語・数学・理科の宿題や自分の勉強をする時間は、1日約25分で、調査に参加した32カ国中最低というデータも紹介されています。

## 日本の勉強時間 ギリシャの半分

## 理科離れ以上に気になる「学びからの逃走」

「おもしろ科学たんけん工房」は、子どもたちの「理科離れ」を心配し、理科の好きな子どもたちを育てよう、理科の好きな子どもたちにはもっと好きになってもらおうという願いから、おもしろ科学ふしぎ発見塾やおもしろ理科・工作塾を開いています。

ここでは、ひたすら教師の説明を聞き、黒板と教科書を読んで、覚え込むといった受け身の「お勉強」ではなく、具体的なもの＝素材（加工される前の、自然の素材）や基本的な道具との、「素朴な出会い」を通して、いわば、楽しみながら、学びの世界に滑り込んで行けるように、体験学習の場を提供しています。

子どもたちが、科学の世界にのめり込むキッカケを提供しているといっても良いでしょう。

## 学ぶ意欲をどう引き出すかが課題

このキッカケをつかむか否かは、子どもたちの学ぶ意欲に関わっています。その意欲がなければ、おもしろ実験や理科工作も、ただのおもしろい見世物、ないし、ただのお遊びで終わってしまいます。私どもは、毎回子どもたちにアンケートを行なっています。8割以上の子どもたちが、「楽しかった、おもしろかった、また来たい」という私たちにとってはうれしい感想を書いてくれています。その反応に、自己満足してはいられない。それが本当の学びのキッカケになっているのかどうか？ 保護者の皆様にもこの点を是非見つめて頂きたいと思っております。

（おもしろ科学たんけん工房 代表 安田光一記）



{磁気と電気のふしぎな関係}（湘南台高校理科室）  
（写真）電気ブランコの実験を演示する相川正光指導員  
9月7日（土）おもしろ科学「ふしぎ発見塾」

「おもしろ科学たんけん工房」は下記の皆様の賛助とご支援、ご協力で成り立っています。

☆賛助会員の方々（五十音順、敬称略）  
かがやき会（高島 輝）、川手 宏美、川畑 有郷  
塩田 和希、世良 明、高橋 悌二、竹内 秀司  
畑尾 逸郎、葉山 峻、松島 賢一、若宮 崇令  
（10名、1法人）

☆寄付を頂いた方々（五十音順、敬称略）  
（昨年9月発足時から～今年11月末の期間）  
秋山 矜一、秋山 直樹、石田 雄一、岩沢佳子  
大久保利江、小野 哲夫、小野 順造、桜井 昭信、  
菅谷 一郎、ソニー株式会社、浜田 靖一  
星澤 信郎、矢田 健爾、（12名、1法人）

☆サポーターとしてご協力頂いている方々  
岩沢佳子、大久保利江、小川 博嗣、小野 哲夫、  
小守 孝、鈴木 節雄、藤島 徹（7名）

☆正会員として運営に参加しているメンバー  
相川 正光、浅井 多喜子、石橋 輝夫、岩瀬 宏一  
小原 勉、川口 浩一、菊池 誠、木下 和久  
木村 貞雄、郷 勝哉、柴田 憲男、下 孝一  
菅沼 良策、高田 明彦、高橋 五郎、武田 邦彦  
福田 光和、松本 公成、三澤 昭、宮治 資雄  
宮地 俊作、村田 和代、村田 晴雄、森島 章伍  
安田 光一、安田 舜二、山田 敏之（27名）

☆その他ご協力頂いている方々  
五島 研悟（講師）、杉下 ゆうき（アドバイザー）、  
高山 義則（科学少年団）、山本明利（湘南台高校）  
坂間 泰一（ビデオ収録）

おもしろ科学たんけん工房 スタッフ 紹介

どんな人たちがやっているの？

理科実験や理科工作の指導員、アシスタント指導員と、裏方で支えている人たちの名前を紹介します。（詳細は順次写真入りで紹介予定です）

1. 正会員で、実務メンバーとして活動している方々

(五十音順)

氏名	主な役割等	備考
相川 正光	指導員、副代表	企業 OB・技術系
石橋 輝夫	アシスタント指導員	企業 OB・技術系
岩瀬 宏一	アシスタント指導員	企業 OB・マーケティング系
小原 勉	アシスタント指導員	教育カウンセラー
川口 浩一	アシスタント指導員	企業 OB・技術系
木下 和久	アシスタント指導員	企業 OB・技術系
郷 勝哉	指導員、副代表	企業 OB・技術系
柴田 憲男	指導員、	企業 OB・技術系
菅沼 良策	アシスタント指導員	銀行 OB・管理系
高橋 五郎	アシスタント指導員	企業 OB・技術系
福田 光和	指導員、	高校教員 OB・化学
三澤 昭	アシスタント指導員	企業 OB・技術系
宮治 資雄	会計、アシスタント指導員	銀行 OB・管理系
宮地 俊作	指導員	中学教員 OB・生物
森島 章伍	アシスタント指導員、 参加者募集受付窓口	企業 OB・ 技術営業系
安田 光一	運営全般 代表	企業 OB・管理系

2. 正会員以外の方々に、今年度のプログラムの指導員（外部講師）をお願いした方々

小野 哲夫 さん 電力中央研究所 主任研究員

テーマ「タコ坊主と海坊主の浮き沈み」

五島 研悟 さん グリーンアスパラパックの会

テーマ「牛乳パックで紙スキに挑戦」

大久保 利江さん 染色研究家、主婦

テーマ「草木染めに挑戦しよう」

菅沼 恵子さん 湘北短期大学教授(生活科学)

テーマ「草木染めの科学にチャレンジ」

3. 会計監査をお願いしている方

予定テーマ変更のお知らせ

「鉱石ラジオ」は、事情により延期します。代わりに「信号機を作って電気の勉強をしよう」をやります

湘南台科学お楽しみ広場のお知らせ

主催/場所：湘南台高校 入場無料

12月23日(天皇誕生日) 10時~14時

おもしろ科学たんけん工房も出展します。

是非見に来て下さい。

この欄では、スタッフのプロフィールを紹介してゆきます。今回は、そのトップバッターとして、

相川正光さんです。

Q 子どもたちは是非すめたいことは？  
A ハイキング 園芸  
趣味は？  
A ハイキング 園芸  
子どもたちには是非すめたいことは？  
A できるだけ自分自身で実験体験  
して、たしかめること。



1933年(S8年)生まれ、旧制中学から高校までの6年間 物理部に所属、部活を楽しみ体験しながら電気・電子系の実用的な技術を覚えた。ソニー株式会社で主にテレビの技術系業務に従事。

安田代表から最初に声をかけられて、たんけん工房づくりの準備に、参画した一人です。持ち前の几帳面で誠実な人柄から、皆に信頼されています。また、相川さんの高校時代の物理部の先輩である郷さんに、声をかけて入会して頂き、郷さんが日本ビクターの関連で、柴田さんを引き込むといった具合に、仲間を増やすことにも繋がりました。

今年度のプログラムの中では

「レモンや炭を使って電池ができる」

「じしゃくと電気のふしぎ——モーターを作ってみよう」をそれぞれ2回担当しました。

写真下 おもしろ理科・工作塾

相川さんの実験を見つめる子どもたち

(横浜女性フォーラムで、2002/7/20)

